

日中友好新聞

日中友好協会
愛知県連合会
県連版第340号
〒464-0821
名古屋市千種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail: jc77918@
amber.plala.or.
jp
郵便口座
00890-6-25484

皆さまのご健勝をお祈りします



新年のご挨拶
日中友好協会
愛知県連合会
会長 森谷光夫

2025年、新年を迎えました。皆さまお元氣にお過ごしでしょうか。
年頭にあたり、みなさまのこの一年のご健康とご活躍を祈念いたします。
今年も国内外を取り巻く情勢は多難な出発になりそうです。国外では22年2月よりのロシアのウクライナ侵略の解決の兆しが見えず、ガザをめぐるハマスとイスラエルの戦闘も複雑な状況のまま推移しています。

東アジアでも東シナ海の問題や「台湾有事」がささやかれる中、日米中の関係が、特にトランプ大統領の再登板により複雑さを増しそうです。国内では自民党の裏金問題―政治と金



2025「新春の集い」の開催について

コロナなどでできなかった新春の集いを今年は開催することになりました。みなさまお揃いでご参加ください。

- ▼日時：2月2日（日）
午後2時から4時（予定）
 - ▼場所：本山の生協会館
 - ▼内容：民族舞踊「かすりの会」
時事講談「つぶれそう一座」
中国の音楽演奏など
- ※詳しくは次号チラシで

※右の干支きりえ：桜井久美子

日本の米国防属化の問題―米軍と自衛隊との共同作戦、安保三文書による「敵基地攻撃能力」の保有などの軍事費大幅増を正し、社会保障費や教育費など暮らしに関するものへの手厚い予算措置が必要で

昨今の諸物価上昇により、国民の暮らしはますます厳しくなっています。また現行の保険証の廃止とマイナー保険証の押しつけは国民の不安を高めています。さて昨年の日中共同調査によれば今の日中間の様々な状況を反映し、両国民の相手国への「良くない」印象が増加しています。

愛知県連合会は、ここ数年来新型コロナウイルス感染症の関係で十分な活動ができませんでしたが、その中でも「B」を含めた役員会の定期的開催、県連ニュースの発行、

中国語教室の受講生を募集中です。一緒に楽しく中国語を学習しましょう。

そのためにも今年役員会の世代交代をはかりつつ、多くの人々に日中友好協会の存在を知っていただき、協会の会員になっていただけるよう皆様のご尽力を、そして協会活動への積極的な様々な提案、参加をお願い致します。

県連は今年も日中不再戦、日中両国民の友好交流を旗印に、世界の平和に貢献し、日中国民の友好交流推進をはかり、各支部活動をふまえて、様々な企画を提起できたらと思っています。

緑支部ニュースより転載
10月11日男女合わせて23名が金山駅近くに集まり、予定通り出発。バスで大阪の関西空港へ、車の中で自己紹介。そして旅の一つの目的でもある、かつての日本軍が犯した数々の罪行から、青木茂氏の万人坑の話聞いた。



日中友好協会愛知県連企画「平和と歴史の旅」 広州・福建・厦門7日間の旅行に参加して ①

石川 正之

▼10月12日高速鉄道（中国の新幹線）で広州・珠海へ。
日本軍の罪行遺跡の数々を巡り、手を合わせ又は献花をしました（写真見）。
中国でどれだけの罪行をしたのか胸が痛む。
▼13日罪行遺跡を後にする。広州の南北朝時代に建設しその後何度か火災に遭い再建された六榕寺を尋ねる。
▼14日今回の観光目玉の一つの村へ、バスに揺られて悪路を移動。着いたのは、単州市平和県芦溪鎮蕉路村にあり、文化遺産でもある土楼。ここを見学し宿泊もする。
（2面につづく）



とても美しく誇り高く天を突く様な感じをうけた。
次に西漢南越（BC2世紀）王墓博物館（写真・玉衣）を見学。かつての墓の場所に立派な博物館が建てられ、見るべきものがあったり時間が足りない。



寺内（写真・本堂）では、少なからず中国式に膝を着いて拝んでいる人たちを見かける。六榕寺内にある塔は千仏塔といわれ

「名古屋春節祭」

▼2025年の「名古屋春節祭」は、1月10日(金)～13日(月・祝)に名古屋市中区栄の久屋公園を中心に開催されます。

▼中央舞台では民俗芸能など多彩なプログラム、周りの食品ブースでは本場の食品が堪能できます。是非お出かけください

▼日中友好協会愛知県連は毎回ブース参加をしてきました。会員のみなさまの交流の場として出店し、歓談の場所を提供したり書籍やパンフ、カレンダーなどを置いて日中友好



協会のPRをしてきました。

▼しかし、近年はブース参加費用が毎年値上がりし、飲食店などと違って費用の捻出が困難となり、ブースの当番も数少ない役員の負担となりました。

▼このため愛知県連は、役員会で費用対効果等を検討した結果、今回からブースの参加を取りやめることにしました。

▼ご理解の程、よろしくお願ひします。



周りは山また山、翌朝の川霧が美しい。山の斜面にはザボンの木(写真)で埋め尽くされて、その果実も旨そう。鶏や家鴨も放し飼ひ。
土楼は写真やテレビなどで見た方が多いと思うが、外敵から守るために作った大家族の集合住宅だ。円形や四角形など様々。外壁の厚さが見た感じ50cmほどありそう。ト



(1面からのつづき)



イレは土楼の外で行う。住めば都と言うが、不便そう。今は観光客用に設備は整っている。日本の平家の落人を思い出した。
土楼での客は我らだけの貧し切りのようだ。食事は民宿

の雰囲気、田舎の味でとても好かった。デザートはリンゴよりもザボンのリクエストで皆さん大満足。食後、皆で川べりを散策しながら他の土楼を見学。途中に上から土楼を眺められ、また違った土楼の一面を感じた。
(次号に続く)



中国百科検定について

12月7日(土)に第16回試験が行われました。全国で250人の申し込みがありました。(愛知は14~70歳の6人受験)

250人というのはコロナ前も含めて歴代5位で、久しぶりの快挙と言えます。

やはり成果として、青年の中国派遣が叶った効果が大きく、準会場も過去最多の8大学になりました。受験者の半分は学生でした。課題としては、初級受験者を増やすこと、そのため学校への宣伝とSNSの活用なども必要です。

北旅行を計画している
写真や作品もOKです。

▼緑支部
12月22日(日)の14~16時に大高南コ
ミセンで「緑支部日
中文化交流望年会」
2025年秋の国
慶節のあとに中国東
3.jpまで、よろしくお願ひします。
文章だけでなく、

▼中国語教室(水曜日・初級講座と木曜日・初級、中級、詳しくはお尋ねください)
▼本紙:県連版へのご投稿を歓迎します。事務所へのFAQが編集担当の木俣博二アドレス
kinata_0811@yahoo

▼茶友会(12月21日土曜日午前10時から、会費1500円)
▼漢詩の会(12月22日・日曜日14時~午後2時から(会費500円、会員無料))
▼閉局のお知らせ
12月28日(土)~1月5日(日)までを事務所の閉局とさせていただきます。

▼熱中支部
中国映画「私は薬の神でない」を観る会を予定しましたが、映写機の不調のため1月に行います。

▼県連・支部だよります。



中国の餃子の形は、上にひだもある半月形です。皮は必ず自家製、自分で皮を作る必要で、この料理の必須工程で、日本の餃子と比べると皮に比べるのもっちり感があります。
「肉を叩いてつぶしたものを野菜調味料」を具として詰め、ゆでたものをたれなど



餃子

餃子(ギョウザ)はもととは中国から伝わった中国料理の一つで、中国ではおかずではなく主食の一種です。

中国で餃子は「水餃」(ゆで餃子)と「鍋貼」(焼餃子)とありますが、一般的に焼餃子を指すことが多いです。油揚げ餃子・「油



動物の形の餃子 (陝西省)

53. 中国の餃子

中国ものしりコーナー

で食べる中国北方の主食の一つで「水餃」と言います。具は特に決まったものはありません。好み、あるいはその時手に入っているもので作ります。日本の餃子のように具にニンニクを入れることはありません。